

お花見(せいの見学)

今年の春は穏やかな天候と暖かさに恵まれ、ちよつと見頃を迎えた桜を見に、利用者様と近くの公園にお出かけしてきました。

車をゆつくりと走らせながら、沿道の両脇に咲く桜を眺めながら近くの公園へ。淡いピンクが良く映えた桜を鑑賞し笑顔を見せる利用者様を見て、桜の美しさを余すことなく感じているように思えました。

公園に着くと、きれいな桜と春の陽気に誘われるように、利用者様の足取りも軽やかでした。心が弾む様子で、とても活発に歩かれていました。



春先ですので、温かいお茶を飲みながらベロンに腰掛けました。するとポランティアさんが植えて下さった黄色や紫色のパンジー、開花を待つチューリップの蕾にも、感嘆の声があがりました。

1時間あまりの桜見学ですが、どの利用者様にも喜んで頂ける楽しい行事ですので、企画及び実行する職員も毎年とても楽しみにしております。毎年決まってくる心配事は、天候です。今年は本当に天候に恵まれ、雨風で桜も散ることなく、満開の桜をお見せすることが出来てよかったです。来年も良い天気になり、綺麗な桜を見れることを願っています。



デイケアレクニケーション

あるふあ国立のデイケアで行われたレクリエーションの様子をご紹介します。

《おやつ作り》
この日は、お好み焼きを作りました。利用者様は、割烹着・三角巾を着てお料理をします。材料のキャベツを手際良く、ザクザクと包丁で刻む様子は手馴れたものです。



小麦粉・豚肉・卵・葱等の材料も、みんなの手分けして、あつという間に準備完了!あとはホットプレートできれいに焼き上げ、海苔・鰹節のトッピングと仕上げのお好み焼きソースをかけて、出来上がり。出来立てをみんなで美味しくいただきました。



完成



てるてる坊主

梅雨の時期は、てるてる坊主を吊るして「明日、天気になれ!」とお願いをしたことは誰でも1回はありますよね?坊主と呼んでいます。坊主のモデルは、女性なんです。中国で『掃晴嬢』と言われる人形が元と言われています。白い紙で作った女の子に着物を着せ、帯も持たせ軒先に吊るす習慣がありました。この習慣が日本に伝わり、女の子から坊主に変化したようです。日照りを願う僧侶が坊主だった。人形の頭が坊主のようだったから...と言われています。



てるてる坊主に、顔を書くのは間違いです。顔を書かず吊るし、晴れたら顔を書いて処分するのが正しい作り方です。晴れを願うおまじないです。で、しっかりと作って正しく祈らないと、逆効果になってしまいますので、気を付けましょうね!

重要!



編集後記

雨が多く、緑の濃い季節になりました。入所様はもちろんですが、毎日通って来られる利用者様が元気に挨拶して下さる姿を見て、私達も元気を分けてもらっているように思えます。これからも、より一層明るく楽しい施設になるようにがんばろうと思えました。皆さん、これからもよろしくお祈りしますね!

あるふあ指定居宅介護支援事業所
 ◎サービス内容 ケアプランの作成・各種介護サービス手配等
 ◎営業日 月～金曜日(土・日・祝日休業)
 9:00am ~ 18:00pm
 ◎住所 東京都国立市富士見台1-20-1 グランド・ル国立101
 ◎お問い合わせ先 TEL 042-505-4722 FAX 042-505-4725

医療法人社団 三水会 介護老人保健施設 あるふあ国立
 ◎サービス内容 入所・ショートステイ
 通所・訪問リハビリテーション
 ◎住所 東京都国立市谷保1006-1
 ◎お問い合わせ先 TEL 042-577-8121 FAX 042-577-8130
 ◎ホームページ http://www.sansuikai.jp/